

 わたり

議会だより

平成27年2月1日

126号

2015



11月
12月
臨時会
定例会

一般会計補正 総額365億4,745万円に — ②

条例改正 中学生まで通院医療費を無償化に — ③

町政のここが聞きたい〈11人が一般質問〉 — ⑥

巨理神社のどんと祭 (伝統文化保存道岳館 奉納太鼓)

一般会計
補正予算

36億1789万円を追加し、
総額365億4745万円に
災害公営住宅関連道路整備事業1億7660万円
鳥の海公園整備事業1億4700万円など

管理経費が、3年前と比較してそれぞれ増えている。増えた理由は、

都市建設課長 管理台数が極端に増えたわけではなく、今までは、日曜日は管理人不在となっていました。今後はお正月期間を除き、1年を通して管理していくためです。

逢隈駅・巨理駅の自転車駐留場の

高野孝一議員 逢隈駅、巨理駅の自転車駐留場の

鍋倉川の整備

216mで補助金額が約1240万円、江下地区が道路延長45mで補助金額が約50万円となっています。

佐藤アヤ議員 台風19号の影響により鍋倉川の改修事業費として900万円の追加となっているがその場所は、



復旧工事が進む荒浜保育所

私道の災害復旧

小野一雄議員 私有災害復旧事業の2カ所の工事場所と道路延長は、

また、補助金の内訳は、都市建設課長 長瀬浜地区の小橋地内が道路延長

都市建設課長 角田市との町境から少し下流に来たところの路肩が崩れている箇所と国道6号を挟んで東側の路肩が崩れている箇所、岩地蔵排水路との交差点所に陥没が見られました。

平成26年度12月補正予算の主な事業

- ・災害公営住宅関連道路整備事業(下茨田橋改良工事) 1億7,660万円
- ・鳥の海公園用地購入、実施設計業務委託料 1億4,700万円
- ・荒浜児童館、荒浜・吉田保育所災害復旧工事 5,062万円
- ・荒浜漁港フィッシャリーナ復旧実施設計事業 2,500万円
- ・巨理町町制施行60周年記念誌発行事業 400万円

12月定例会は12月5日から12月12日までの8日間の会期で開催されました。

町からは補正予算案8件、条例改正案5件、工事請負契約等15件が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。

主な内容を紹介します。

条例改正

中学生まで通院医療費を無償化に

子ども医療費の助成に関する条例の一部改正

提案理由 平成27年4月1日から通院にかかる医療費の窓口一部負担金無償化の対象年齢を15歳まで拡大するため、条例の一部を改正するものです。(全員賛成で可決)

安藤美重子議員 この制度は子どもも持っている

親にとってはとてもありがたい制度だと思いが、周知方法はどのようにするのか。

健康推進課長 町の広報やホームページ等でPRしていきます。

工事請負契約

提案理由 震災復興計画

に基づく吉田地区の二線堤整備事業として、町道橋本掘沿線道路を新設するものです。(全員賛成で可決)

小野一雄議員 橋本掘のかさ上げ道路は本町の復興計画の大きな目玉である。10km以上延長のある本道のうち、今回は約1.7km着工するが、残りの部分は一括で行うのか。

都市建設課長 地権者から用地協力がいただけましたら、その区間ごとに工事を進めていきたいと考えています。

安藤美重子議員 工事車両の交通対策は、

都市建設課長 運搬については各業者間で調整をしていただき、仮設道路等も敷設するなど、お互いに競合しないように進めていきます。

工事請負契約

提案理由 水産センター(きずなぼーとわたり)に隣接する北東部に漁具倉庫を新築するものです。(全員賛成で可決)

物品購入契約

提案理由 町立郷土資料館収蔵庫内の収蔵棚を入れ替え、収納スペースの確保を図るものです。(全員賛成で可決)

公の施設の指定管理

〈施設名〉 巨理町ゆゆう作業所 巨理町ほのぼの園 巨理町社会福祉協議会

〈施設名〉 巨理駅西自転車等駐留場 巨理駅東自転車等駐留場 巨理駅東駐留場

巨理町シルバー人材センター

〈施設名〉 浜吉田駅西自転車等駐留場

〈指定管理者となる団体〉 浜吉田西区

〈施設名〉 逢隈駅東自転車等駐留場

〈指定管理者となる団体〉 下郡区

(全員賛成で可決)



収蔵棚の入れ替え作業

平成26年11月 第34回臨時会 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無記名投票：無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

Table with columns for case number, title, date, and 18 council members' votes. Includes cases like '協議に関する協議について' and '平成26年度巨理町一般会計補正予算(第4号)'.



11月臨時会は11月10日に開催されました。町からは区域外における公の施設の設置に関する協議(広域運行乗合自動車の岩沼市への乗り入れ)についてなど、5件の議案が提出され、慎重審議の結果、すべて原案どおり可決しました。主な内容を紹介します。

一般会計 5,164万円を追加

一般会計補正

提案理由 わたり温泉鳥の海に常勤する職員の人件費3,955万9千円の特

安藤美重子議員 わたり温泉に常勤職員2人を配置するが、業務内容は。わたり温泉鳥の海所長

わたり温泉鳥の海特別会計補正

提案理由 わたり温泉鳥の海常勤職員の人件費3,955万9千円、施設修繕費300万円の追加などです。(全員賛成で可決)

高野 進議員 今後の入浴客増の展開案・マーケ

平成26年12月 第35回定例会 議案等の審議結果

Table with columns for case number, title, date, and 18 council members' votes. Includes cases like '専決処分承認を定めることについて(平成26年度巨理町一般会計補正予算(第5号))' and '巨理町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例'.

ティンブ案をどのように考えているか。

また、入浴客からアンケートは取っているか。わたり温泉鳥の海所長

提案理由 JR常磐線からの最終電車後に岩沼から逢隈駅・巨理駅を経由し、浜吉田駅までの乗合自動車を運行するもので、通勤者等の足の確保を図るものです。(全員賛成で可決)



岩沼駅へ乗り入れを協議中のさざんか号

佐藤正司議員 停車場の設置場所と経費負担は。企画財政課長 岩沼駅前広場のタクシープールの北側を検討しており、岩沼市と協議中です。

請願・陳情

Table with columns: 内容 (Content), 提出者 (Submitter), 対応 (Response). Includes requests for medical cost support and business stability.

町政のここが聞きたい

「一般質問」は町長に対し、将来に向けての考えなどを質すものです。12月定例会では11人の議員が登壇し行いました。

鞠子幸則議員…………… 7P

- ・戸建災害公営住宅 手すりの延長を
- ・米価暴落 町としてどう対応

佐藤アヤ議員…………… 8P

- ・第4次巨理町総合発展計画の状況は
- ・中学生海外派遣事業 中学1年生も対象にしては

鈴木邦昭議員…………… 9P

- ・防災無線難聴地域の対策は
- ・ピロリ菌対策について
- ・避難行動要支援者名簿の作成は

高野 進議員…………… 10P

- ・津波浸水区域の除草を
- ・イノシシ駆除隊員不足対策は

高橋 晃議員…………… 11P

- ・還付加算金をできるだけ返還すべきでは
- ・市民後見人の育成は

佐藤 實議員…………… 12P

- ・どうする 荒浜・吉田東部定住人口対策

鈴木洋子議員…………… 13P

- ・ライフスキル教育の充実について
- ・防災教育にどう取り組むのか

小野一雄議員…………… 14P

- ・防災拠点設備の整備 役場庁舎建設は
- ・総合防災訓練実施後の課題 公共ゾーンにヘリポート整備を

百井いと子議員…………… 15P

- ・中央工業団地における今後の展開は
- ・町長の考えるパークタウン構想とは

佐藤正司議員…………… 16P

- ・健康寿命に対する取り組みは

安藤美重子議員…………… 17P

- ・巨理神社周辺の環境整備を
- ・救命胴衣（ライフジャケット）の準備を

戸建災害公営住宅

手すりの延長を

検討します

問 玄関の手すりを延長してほしいか。

町長 戸建住宅の玄関に設置している手すりは転倒防止のため、主に階段に設置しています。建物の配置上、玄関が道路に近接している住宅では、道路側への転倒を予防するため、玄関ポーチ上にも手すりを設置しています。今後も、居住者の安全対策を最優先に検討していきます。

再質問 今回の12月定例会に提案されている一般会計補正予算の宅地入口階段手すり設置工事は、どここの団地か。

復興まちづくり課長 今回の補正予算は基本的に全ての団地を対象とします。設置箇所は道路から



玄関の手すり（上浜街道戸建住宅）

住宅の敷地までの階段部分です。団地ごとに高さの違いがありますが、段差が生じています。低いところで1段、高いところで4段ほどの階段を設置しています。転倒の危険があることから追加工事として手すりを設置します。

米価暴落 町としてどう対応

関係機関と連携して

問 町として価格補償や直接支払交付金の補てん、生産資材への助成を行っているか。

町長 今回の米価暴落は全国的な問題であり、深刻な状況であると認識しており、産業の根幹にかかわる問題です。宮城県市町村会を通じて、米価暴落に対応した緊急対策について関係機関に要望書を提出しています。要望書の内容は、次の4点です。第1点は稲作農家への緊急的な経営支援、第2点は収入減少影響緩和対策などの諸制度の前倒し、第3点は稲作農家への当面の資金繰りに対する資金措置、第4点は米の需給改善、米の消費拡大、米粉用米や飼料用米の利用拡大に対する効果的な政策です。

今後、町として近隣市町の動向を注視して、関係機関と連携しながら検討していきます。



鈴木邦昭議員

防災無線難聴地域の対策は

防災メール・FMあおぞら・消防団等を活用

問 防災無線に関しては、何度か質問してきたが、豪雨で防災無線が聞こえないという町民の方々の声がある。本町での対策は。

町長 登録制の防災メール、エリアメール、臨時災害ラジオFMあおぞら等の活用や、テレビ、ラジオなどのさまざまなメディアで情報発信できる「公共情報コモンズ」の活用と消防団による広報活動も実施しています。

第4次巨理町総合発展計画の進捗状況は

目標達成は全体の20%・事業展開中は74%

問 第4次巨理町総合発展計画の目標年次は27年度までとしているが、進捗状況はいかがか。

町長 計画は352の施策から成り立っており、目標達成したもののや期間内に達成する予定のものが全体の20%です。一部で目標達成できるものと事業展開中のものは74%で、未着手のものは6%となっています。

問 計画の中で大きく見直した事業や取りやめた事業はあるのか。

町長 計画に登載した施策に大きな見直しはありませんが、震災の影響により復興事業を優先することをはじめ、土地利用や社会状況等が変化し、土地区画整理事業や公共



佐藤アヤ議員



巨理町総合発展計画審議会の様子（中央公民館）

ゾーンの整備に遅れが生じています。

問 今後、第5次総合発展計画を策定する上で、行政と町民の指針となる計画を策定するために、多くの町民の意見を聴くことが重要と考えるが。

町長 町民の意見や意向を把握して計画に反映させるため、町内に居住する18歳以上の町民2千人を対象にアンケート調査を実施し、936人の方から回答をいただきました。今後も出前講座や各種団体との意見交換・住民説明会を通じ、広く町民の意向を反映し、次世代に引き継げる総合発展計画になるよう取り組んでいきます。

中学1年生も対象にしては

今後の情勢を踏まえ検討

問 本町では中学2年生を対象とした中学生海外派遣事業を行っている。今年度で19回目となるが、今後、中学1年生も対象にしては。

町長 巨理町国際交流実行委員会において、中学1年生で学習する語学力や行動等を考えますと、現地での研修に対応できないとの結論ですが、今後の情勢を踏まえながら検討します。

問 参加するための個人負担を抑えるため、町の補助率を上げては。

町長 社会情勢の影響で事業費が増減することがありますが、費用負担割合を極力上げることのないように努めます。

問 派遣するだけでなく受け入れる体制づくりも必要ではないか。

町長 毎年、海外派遣事業での訪問時に、学校側に本町への来町をお願いしており、実現できるよう取り組んでいきます。

ピロリ菌対策について

国の動向を注視

問 本町で町民を対象に実施している各種検査項目にピロリ菌検査を追加しては。

町長 国では胃がんの検査方法の在り方などの検討が重ねられ、ピロリ菌検査が検診項目として認められるか動向を注視していきます。

問 若い世代から胃がんリスクを減らすことを目的に、中学校の健康診断尿検査項目に町独自のピロリ菌抗体検査を取り入れては。



胃がんの原因とされるピロリ菌

町長 中学校で実施している健康診断の尿検査は学校保健安全法にのっとり適正に実施しています。で、ピロリ菌抗体検査は、今後の国の動向を注視しながら対応していきます。

避難行動要支援者名簿作成は

今後整備を進める

問 避難行動要支援者名簿の作成状況は。

町長 災害対策基本法が改正され、避難行動要支援者名簿の作成、名簿に記載する事項などが規定されましたが、そこまでの整備には至っていない。

問 災害が発生し、または発生する恐れのある場合、避難行動要支援者の生命・身体を災害から保護するため特に必要と認

める時、必要な限度で関係者・その他の者に名簿情報を提供する事ができる。この場合、本人の同意を得る事を要しないとあるが本町の取り組みは。

町長 災害対策基本法により町が義務として備える災害時避難行動要支援者名簿を避難支援実施の必要な限度において情報を提供する事と考えています。



高野 進 議員

津波浸水区域の除草を

所有者側での管理が基本



被災した開墾場地区

問 津波浸水区域には雑草が繁茂し、枯草への着火による火災の恐れや害虫の発生が懸念され、景観も損なわれる。
①津波浸水区域の草刈りが必要と思うが、その対策は。

②「巨理町みんなできいなまちにする条例」に基づいて、津波浸水区域の宅地(空き地)および農地の草刈り(除草)を所有者に呼びかけては。
町長 津波浸水区域に限らず、所有者には適正管理に努めていただいています。行政側が私有地の草刈りをするには財産権等さまざまな問題があり

ますので、所有者側で管理していただくことが基本となります。
再質問 適正管理の要請だけでは解決できない。

統一行動日を設けて、一斉清掃を呼びかけては。
町民生活課長 事故等の懸念があり、考えていません。国では空き家等対

策推進特別措置法が成立したので、そちらの推移を見守り、検討していきます。

イノシシ駆除隊員不足対策は

近隣市町を参考に検討

問 イノシシにより農作物が食い荒らされ、農家は深刻な状況にある。また、民家周辺にも出没し、非常に危険である。生息数が増加している中で、有害鳥獣駆除隊員の高齢化と後継者不足が問題となっている。

①有害鳥獣駆除隊員不足対策は。

②狩猟免許取得に要する講習・受験料を町が負担しては。

③捕獲者への奨励金を増額しては。

町長 過去に受講料・受験料の半分の助成し、狩猟免許を取得していただ

きましたが、更新せず、定着しなかった経緯があります。今後は経費の負担軽減も考慮に入れ、人材募集を図っていきます。捕獲報償金は内部で検討しています。

入猟税等やガソリン代がかかる。来年度予算で検討する考えはないか。
農林水産課長 宮城県猟友会巨理支部への委託料と捕獲報償金は、近隣市町を参考にしながら検討しています。



捕獲されたイノシシ

還付加算金をできるだけ返還すべきでは

慎重に過去の事例等に照らして判断

問 巨理町固定資産税等返還金支払要綱を今回の還付加算金の事例にも適用し、時効の5年を超えて返還しては。

町長 5年を超す返還金の法的位置付けは、地方自治法の寄附および補助の規定に基づいており、今回の還付加算金の事例に適用することはできないと考えています。

再質問 この要綱の作成当時、より広く適用し、住民に返還しているという議論があったとされている。このような経緯を踏まえ、今回の事例に

も適用すべきでないか。

税務課長 過去にそのような事例があったことは承知しています。しかし、この要綱を適用する際には、慎重に過去の事例等に照らし合わせながら判断していきます。

問 すでに時効が成立した方にも通知するなど対応策を考へては。

税務課長 総務省では還付金は損害にあたらぬという見解であり、国税庁でも利子相当分は損害賠償等の性格を持ちえないという見解が出されています。時効が完成した

場合、消滅した対象者を確定して通知等を行うことはできません。
問 今回のような事態が生じないよう、本町では今後、どのような防止策をとるのか。

町長 担当職員の共通認識を図り、還付事務取扱いマニュアルを作成します。また、研修等を通じ、さらなる職員の資質向上を図り、防止に努めます。

市民後見人の育成は

慎重に検討の上で取り組む

問 認知症カフェ(※1)の取り組みが各地で増えてきている。本町でも導入を検討しては。

町長 認知症カフェに既に取り組んでいる先進地事例などを参考に、平成27年度からの実施に向け検討していきます。
問 厚生労働省の市民後見推進事業を利用して、今後市民後見人(※2)の育成を図っては。



入れながら、慎重に検討した上で取り組んでいきます。

※1 認知症カフェ
認知症の方とご家族、地域住民、専門職等だれでも参加でき、集う場のこと。
※2 市民後見人
認知症や精神障がい等で判断能力が不十分になった人を支援するため、家庭裁判所から選任された一般市民による後見人のこと。本人に代わり財産管理や介護契約等を行う。



高橋 晃 議員



鈴木洋子議員

問 ライフスキル(※)教育について学校・家庭・地域がそれぞれの教育力を高めるため、意識的に学習する必要がある、その重要性について伺う。

答 家庭や地域にライフスキルの重要性を知ってもらう必要があるのは。教育長 家庭教育や学校教育においても不登校や問題行動に発展しないようという意味では非常に大事なライフスキル教育ですので、学校現場でも十分な認識を深める施策をとっていきます。

※ライフスキル 日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対し、建設的かつ効果的に対処するために必要な心理、社会能力。日常生活の中で自分らしさを大切にしながら多くの人とうまくかかわることや、怒り・悲しみ・ストレスなどに強い影響を受けようような問題を受け止め、乗り越え、自分の力を創造的に生かすための能力のこと。



授業風景(吉田中学校)

ライフスキル教育の充実について

学校現場の中で認識を深める

防災教育にどう取り組むのか

小・中学校に防災主任教諭を配置している

問 児童・生徒に対し、防災に関する正しい知識や災害時の行動を身に付けさせる防災教育の必要性がある。学校教育の中でどのように伝え、取り組むのか。

答 本町では各学校に防災主任教諭を配置しています。その役割は防災教育の推進や、学校防災機能の整備、防災教育計画の策定、家庭や行政の防災部局と連携し地域防災推進のコーディネーターとしての役割を果たしています。防災教育としては強く子どもたちに「自分の命は自分で守る」という認識をもらう先生方に指導してもらい、伝え取り組んでいきます。

どうする 荒浜・吉田東部定住人口対策

復興計画に基づき進める



佐藤 實議員

問 町が津波により被災した。これまで以上の魅力あるまちづくりを進めるため、荒浜・吉田東部地区の定住人口を増加させるための施策は。

答 本町では復興計画に基づき被災者支援を第一に掲げ、震災の影響をやむなく町外へ転出した方々が一日も早く震災前の地域へ戻り、生活再建できるよう防災集団移転促進事業の推進を初め、災害公営住宅の建設に取り組んでおり、町内外で津波被害にあった方々の町内での住宅再建等に対する助成を実施しています。

問 避難道、二線堤整備の進捗状況は。

答 御狩屋の保安林国有地は現在、払い下げを前提に国と協議中です。一定期間は保安林としての位置付けになります。その後は公園等の憩いの場が保てるよう検討します。

問 阿武隈川と鳥の海の自然環境を生かしたまちづくりの今後の考えは。

答 海・山の再生と自然の恵みの活用は本町にとって極めて重要です。自然環境は時代の変遷により健全性が失われつつあります。こうした現状を受け、町では関係機関と2カ年にわたる調査を行いました。その結果、鳥の海の自然環境は震災により破壊されましたが、一部回復の兆しも見られる状況です。



震災前の活気とにぎわいを(荒浜漁港周辺)



役場庁舎建設は

仮設住宅撤去後速やかに着工

防災拠点設備の整備



役場庁舎建設予定地（公共ゾーン）

問 役場庁舎と消防本部を同じ敷地内に整備する必要があるのであれば、

町長 防災拠点として役場庁舎と消防署が同一敷地内にあることは、災害時や有事の際の行動が円滑に行われるなどの利点があります。行政事務組合を組織している山元町や関係機関と協議し、消防の広域化も念頭に入れ、総合発展計画の中で検討します。

問 役場庁舎建設計画とその他の公共ゾーンのブランドデザインはいつ決定するのか。

町長 町の財政状況を踏まえ、住民の方々の理解を得ながら、保健福祉セ

ンター、役場庁舎、給食センター、町民会館、町民体育館の順で計画的に準備を進める方針です。来春には全ての災害公

防災訓練実施後の課題

公共ゾーンにヘリポート整備を

新たに消防署を整備する際に検討

問 巨理町地域防災計画との連携は。

町長 従来、大規模な地震のみの想定で実施していたものを、町の実情に合わせ、大津波も想定し、宮城県防災計画や巨理町地域防災計画に沿って実施したものです。

問 ヘリコプターの活用は災害時に不可欠である。公共ゾーンにヘリポートを整備すべきでないか。

町長 大規模災害時には、被災者の救出救助活動、救急患者等の搬送、医師等の人員や救済物資輸送にヘリコプターの活

用が特に有効な手段だと思っております。今後、新たに消防署を整備する際には検討していきます。

営住宅が完成する予定となっており、仮設住宅に入居されている方々も生活再建の見通しがつてきますので、公営住宅へ

の入居者の動向を見極めながら、仮設住宅撤去後、速やかに庁舎建設に着工できるように準備を進めていきます。



巨理消防署

中央工業団地における今後の展開は

自動車・食品関連産業に焦点を当てる

問 現在、国・県・町が行っている企業立地の優遇制度を活用し、立地の条件として本町は今後のような業種の集積を図ろうとしているのか。

町長 誘致企業の業種は基本的に県が集積を目指す業種に指定している自動車・クリーンエネルギー・船舶・食品・医療健康・航空宇宙・高度電子機械・木材関連産業の8業種の中でも、より多くの雇用創出が期待できる自動車・食品関連産業に焦点を当て、企業誘致活動を展開しています。

問 企業誘致活用は現在どのような方法で進めているのか。

町長 主に宮城県主催の企業立地セミナーに参加しています。また、来庁された企業の方々には工業団地の内容と優遇制度について説明し、誘致活動を行っています。

問 女性雇用者が安心して仕事に専念できるように団地内に保育所を設置することは可能か。

企画財政課長 企業立地が主たる目的のため、保育所だけを建設すること



整備が進む中央工業団地

は不可能です。しかし、進出した企業が保育所を併設することは差し支えありません。

町長の考えるパークタウン構想とは

町の魅力をアピール

域資源や観光資源を結び付け、町外に魅力を提供し、交流人口の増加や定住化促進により、町内の活性化につなげる取り組みです。

本町では震災後、国内最大規模のいちご団地や精米工場が建設されました。また、メガソーラーの進出計画もあり、全国からの視察や問い合わせが後を絶たない状況です。これらは本町の貴重な資源であり、一つ一つの施設を公園の施設として捉え、人が集い交流する場として、町の新しい魅力を広くアピールできるように、専門家も交えて検討していく考えです。

問 町長のパークタウン構想が広く町民に伝わるよう第5次総合発展計画の中に明記すべきと考えます。

町長 今後、事務レベルの中で検討し、明確な形で提案できるように努めていきます。



巨理神社周辺の環境整備を

教育委員会と協議しながら検討

問 震災後、本町に視察や観光で見える方が多くなっている。巨理神社周辺は観光の名所になると思われるが、駐車場の整備を充実しては。

教育長 旧館仮設住宅の東側に50台以上駐車できる駐車場がありますので、そちらをご利用いただきたいと思います。

再質問 公園の南側に県有地があるが、観光バスが駐車できるような駐車場として払い下げを受け



安藤 美重子 議員

町長 土地が空き次第、県と交渉して利用方法を考えていきたいと思えます。

再質問 巨理城跡として大きな観光看板を目立つように設置しては。

再質問 町としてはいつか。

町長 旧館公園は教育委員会が管理しています。観光看板の設置については



巨理要害跡

教育長 教育委員会として歴史的・学術的な見地から名称は巨理要害跡となっております。観光看板の設置は今のところ考えていません。

は今後の検討課題とさせていただきます。



備えあれば憂いなし

問 津波から命を守るために沿岸部の公共施設、学校、保育所等に救命胴衣（ライフジャケット）を準備しては。

町長 吉田、荒浜保育所は、津波の際には隣接する小学校の屋上に避難する計画になっています。救命胴衣の備蓄は荒浜小学校に85着、長瀬小学校に31着整備しています。学校ごとに何を必要とするかを協議しながら、整備を進めていきます。

総務課長 わたり温泉島

問 津波から命を守るために沿岸部の公共施設、学校、保育所等に救命胴衣（ライフジャケット）を準備しては。

町長 津波の際には隣接する小学校の屋上に避難する計画になっています。救命胴衣の備蓄は荒浜小学校に85着、長瀬小学校に31着整備しています。学校ごとに何を必要とするかを協議しながら、整備を進めていきます。

問 地域住民、自主防災組織の役員、民生委員、消防団の方々に対しても救命胴衣の備えを勧めては。

町長 沿岸部および洪水浸水想定地域の方々を中心に進めていくとともに、地域住民が中心となって活動している自主防災組織にも備蓄品に加えていただくよう呼びかけたいと思えます。

計画的に整備しつつ

救命胴衣の準備を

の海等にも順次計画的に救命胴衣の整備を進めていきます。

健康寿命に対する取り組みは

生活習慣病の発症予防対策に努める

問 健康寿命は県内自治体との比較でどのような状況か。

町長 平成25年度における市町村別では本町の男性平均寿命は80・04歳で、健康寿命は78・46歳となっており、県平均寿命80・79歳、健康寿命79・26歳より下回っています。また、本町の女性平均寿命は88・34歳で、健康寿命は84・27歳となっており、県平均寿命86・97歳、健康寿命83・7歳より上回っています。

再質問 平均寿命と健康寿命に差がある。この差は不健康な期間になる。特に女性の場合に開きがあるが、この状況をどのように捉えているか。



佐藤 正司 議員

健康推進課長 一般的に女性のほうが平均寿命が長いことから、そのような状況になっていると思われる。

問 疾病予防、健康増進の取り組みと健康寿命延伸をどう進めるのか。

町長 第2次健康わたり21プランの中で、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を第一に掲げ、生活習慣病の発症予防を含めた疾病予防と健康増進について、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じた対策に取り組むこととしています。その中で青壮年期はがんや循環器疾患、糖尿病等の生活習慣病の発症および重症化予防のため、がん検診や特定健診の受診率向上に努めています。また、高齢期は身体活動、運動の必要性の啓発と適切な運動指導、身体活動の向上推進に保健師と管理栄養士等できめ細やかな個別指導を行っています。

健康は歩くこと
各分野との連携は

問 健康の基本は歩くことであり、まちづくり協議会や生涯学習分野と連携した健康づくりの取り組みは。

町長 歩くことは健康づくりに欠かせないものです。運動の習慣化を推進するための運動支援サポーターを養成し、地域での運動支援に協力をいただいています。その中で町民参加によるノルディックウォークを企画実施しています。また町づくり協議会では町と共催によるウォークラリー大会等健康推進のためのスポーツ事業に取り組んでおり、町でも健康増進につながる事業に支援していきます。



町民参加のノルディックウォーク



わたり復興マラソン（親子の部）

議会運営および議会活性化

議会運営委員会

議会運営委員会では平成26年9月29日、10月1日に議会改革の一環として情報通信技術を活用したタブレット端末の導入や、議会ライブ中継をインターネット配信している福岡県新宮町と議会活性化に取り組んでいる大分県日出町を視察調査した。

大震災からの復旧・復興を早期に推し進める上でも、議会は町民に対して町政課題などの情報公開をし、説明責任を果たすことが重要になっている。時代に対応した情報通信技術の導入と情報発信により開かれた議会運営を推進する上でインターネット配信やタブレット端末を利用した情報通信システム構築を図っていくことが必要である。



なお日出町からは、震災時からの心温まる支援を縁に11月27日に友好都市締結がなされたが、両町の産業や教育、文化、スポーツなどの分野において実りある交流の輪が広がることを期待する。

議長交際費を公開します

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

10月分			11月分			12月分		
No.	内容	支出金額	No.	内容	支出金額	No.	内容	支出金額
1	仙南町村議会議長会歓迎会費	5,000円	1	教育福祉常任委員会視察先土産代(11/11~12栃木県宇都宮市、千葉県市川市)	16,860円	1	元巨理町議会議員逝去弔電代	2,278円
2	巨理名取地区市町議会連絡協議会行政懇談会費	15,000円	2	11/6鹿児島県錦江町議会視察来町時お茶代	2,980円	2	友好親善都市締結式時御礼代(大分県日出町)	6,470円
3	前岩沼市議会議長逝去弔電代・弔慰金	6,501円	3	11/12町村議会議長全国大会懇談会費	8,000円	3	第13回ソフトバレー・チャレンジフェスティバルinわたり大会祝儀	3,000円
4	元町議会議員文化の日表彰【地方自治功労】祝電代	2,235円	4	元巨理町議会議員逝去花環代	10,800円	4	平成26年度農政懇談会費	10,000円
5	仙南・巨理地方正副議長・事務局長による被災地の復興状況視察懇談会費	10,000円	11月分計 4件		38,640円	12月分計 4件		21,748円
10月分計 5件		38,736円						

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会は

2月26日(木)~3月13日(金)の予定です。

そのうち一般質問は3月3日(火)、4日(水)を予定しています。

役場仮設庁舎2階大会議室で行われますので、お気軽にお越しください。

地場製品の推進と販路拡大をめざして

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では町内の特産品が全国的な流通、販売まで至っていないことに着目し、地場産品のブランド化、新商品開発などを積極的に進めている青森県十和田市とおいらせ町を平成26年7月16日、17日に視察調査した。

十和田市では平成25年に「十和田産品販売戦略課」を設置し、実践プランを策定した。この中で商品開発アドバイザーやデザインアドバイザーからアドバイスを受け、特産品を活用した新商品開発に努めていた。

おいらせ町では平成19年に「おいらせ町地域ブランド戦略」を策定した。この中でシンボルデザインを決め、おいらせブランドとして町が認定し、県内外に地場産品の普及促進を図っていた。地元高校の生徒と共同開発した郷土料理が人気であり、さらなる普及促進を目指していた。

さらに平成26年9月26



日に町農産加工推進協議会の方々と町内事業者を対象とした懇談会を実施した。その中には「事業者同士の商談会の場を設けてほしい」「産直市場を増やしてほしい」などさまざまな意見が出された。

本町としても(仮称)わたり産品販売戦略プロジェクトチームを設置し、コンサルタントからアドバイスを受け、町として売れる商品づくりに取り組む体制を確立させるよう要望する。

小・中学校の教育環境の充実を

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会では小・中学校の教育環境の改善は、将来の町を担う子どもの育成のための最重要課題であることに着目し、町内すべての小学校と懇談会を行い、通学路の安全対策の先進地として栃木県宇都宮市と学校図書館が充実している千葉県市川市を平成26年11月11日、12日に視察調査した。

宇都宮市では市教育委員会が策定した「通学路における児童・生徒の安全確保に関するガイドライン」に基づき、学校ごとに通学路を設定し、市内全小学校の周辺約500mにはスクールゾーンの看板を設置していた。

市川市では「生きる力・夢や希望を育む学校図書」を市の目指す学校図書像として掲げ、子どもたちの生きる力を育むため学校図書部を組織し、魅力ある図書づくりを進めていた。

本町においても地域・学校・家庭が一体とな



り、子どもたちの教育環境をより良くするため、なお一層の努力が必要である。

私もひとこと

巨理町民として半世紀



高野の 義光さん
(下郡横捲在住)

私が飲食店を営んでから7年が経過し、たくさんのお客様と接し、いろいろなお話を聞くことができました。

震災後は、県内外からのボランティアや復興工事関係者のお客様が中心となり、「頑張ってください」と温かいお見舞いの言葉をいただきましたが、中には被災地を観光目的に訪れているのではと疑問も抱きました。

被災された方からは、仮設住宅での窮屈な生活のストレスや経済的・将来的な不安の声をお聞きし、被災者の早期救済を強く感じました。

身近な問題で解決を願うことは飼育犬の糞害問題です。公園や農道にも放置されており、一部の飼い主の方といます

が、モラルを守ってほしいことと、町として何らかの対策を講じていただきたいです。

私は議会の傍聴にも何度か行きました。ホームページ等を見てみますと、すべての定例会で一般質問をしている議員もいますが、他の議員も含めて、もっと深みのある議論を活発にと願っています。

明日へ



若松の 捷子さん
(新井町在住)

昨年の暮れに選挙がありました。「なんでこの時期に」という声も聞かれましたが無事終わりました。私は数年前、県の選挙管理委員に任ぜられ、その間、国・県議会議員選挙の業務に関わり、投票用紙一枚にも神経を張りつめて見ていた時の事を思い出しているからです。この大変さは市町村も同じです。一番気がかりだったのは投票率の事でした。私の住む巨理町にいつも目が注がれていました。今回の巨理町の投票率は47.7%。しかも若い世代の投票率が低いのが気になる

ります。投票率アップの妙案は浮かんでこないのですが、家庭の中でも選挙の事が話題となり、投票に行く姿を示すことも次へつなぐ大事な事ではないかと思えます。これからの復興を進めるためにも、しっかりと候補者の声に耳を傾け投票に行きましょう。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年には災害のない穏やかな未来になりますようお願い致します。

さて、巨理町消防出初式が1月11日に巨理中学校体育館において、団員340人と招待者出席のもとに行われました。团长より新入消防団員6人に辞令交付が行われ、巨理神社方向に向かって無火災祈願が行われました。消防団員の皆さまには、町民の生命・財産を守るためにさまざまな活動に参加されていることに感謝致します。

今後も「議会だより」が町民の皆さまに愛されるような紙面づくりに取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

(K・W)

議会広報常任委員会

- 委員長 佐藤 正司
- 副委員長 百井いと子
- 委員 熊田 芳子
- 鈴木 邦昭
- 渡邊 健一
- 高野 進

発行 巨理町議会 千九八九一三三九三
編集 巨理町議会広報常任委員会



議会に関する詳しい内容は巨理町のホームページからご覧になれます。

<http://www.town.watari.miyagi.jp/>